

らいぶスクエア

オリジナルボディーパーカッションをつくろう ～ひらこう！2Cコンサート～



音楽科
2年C組担任
北川 真里菜

1 これまでの学びを活用して

音楽科において、本学級の子供たちは〔共通事項〕を核とした年間カリキュラムに基づき(表1参照)、「2C音楽の学びマップ」を作成しながら、音楽の授業で何を学び、学んだことをどう活用していくのかを考えながら学習を進めてきました。

第2学年の最終題材「ひらこう！2Cコンサート～音をあわせて楽しもう～」では、友達や先生を招待して開く「2Cコンサート」での発表を目標とし、合唱や合奏に取り組みました。2Cコンサートは当初カリキュラムには取り入れていませんでしたが、「発表する場がほしい。」「いろんな人たちに自分たちの音楽を聴いてほしい。」という子供たちからの提案によって開催することになりました。

コンサートで演奏する楽曲は、音楽の縦と横との関係を指導事項としながらも、1年間で学んだ〔共通事項〕を取り入れた楽曲を意図的に選択することで、これまでの学びを活用する必然性を促そうと考えました。

『ジャンピングタッチ』は、鍵盤ハーモニカや打楽器類など様々な楽器の音色、ジャズ風のリズム感や音高、強弱の変化などといった音楽的特徴のある楽曲であり、合奏に取り組む際は拍の流れを感じ取りながら息を合わせて演奏する必要があります。さらに、既習の「リズム」や「反復」などを活用できるよう、曲の中間部にアドリブ部をつくり、子供たちが学んだことを活用できる音楽づくり「オリジナルのボディーパーカッションをつくろう」の活動を行うことにしました。

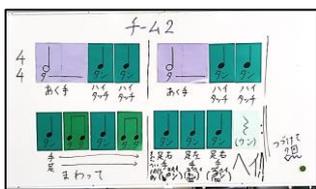
	共通事項	題材
1学期	拍	はくってなに？ ～はくのま とまりをかんじとろう～
	音高	音のかいだんをのぼろう！ ～音の高さのちがいを かんじとろう～
	呼びかけとこたえ	音楽でお話 ～よびかけとこたえを かんじとろう～
2学期	拍子	何びょうしかな～ひょうしを かんじてリズムをうとう～
	速度強弱	どんな気持ちで歌おうかな？ ～ようすを思いうかべよう～
	リズム	リズムで大へんしん！ いろんな子犬に へんそうしよう！
	音色	みつけた！お気に入りの音色 ～いろいろな音を楽しもう～
3学期	反復変化	わらべうたであそぼ ～日本の歌をたのしもう～
	音楽の縦と横との関係	ひらこう！2Cコンサート ～音をあわせて楽しもう～

表1：〔共通事項〕を核とした年間カリキュラム（2年C組）

2 試行錯誤しながら音楽をつくる活動

グループに分かれ、それぞれ8小節のリズムをつくることから始めました。題材「リズムで大へんしん！」での学習、また常時活動「リズムならびかえ」や「リズムパーティー」での学びを生かし、子供たちはイメージとリズムを結び付け、意欲的に自分たちなりのリズムパターンを考えることができました。

題材「みつけた！お気に入りの音色」で学んだ「同じ手拍子でも鳴らし方や鳴らす場所が変われば音色が変わる」



ことを生かして、イメージにぴったりの鳴らし方を話し合い、どのような音色を出そうか何度も試している様子が見られました。

また、反復や変化など音楽の仕組みを効果的に取り入れ、つくりながら「この部分は呼びかけとこたえみたいになってるね。」と自分たちのつくった作品を捉えなおし「だから、お話しするみたいにしたこう。」と表現の工夫を考えているグループもありました。

3 1年間の音楽科での学びを発信する「2Cコンサート」

題材の終わりに「2Cコンサート」という発表の場があることによって、共通の目標にむかって力を合わせてより主体的に表現活動に取り組むことにつながりました。また、演奏以外にもコンサートの企画・運営についてもすべて子供たちの力で行い、たくさんの人に自分たちの演奏を聴いてもらったことで、学級全体で大きな達成感を得ることができました。

1年間の音楽科での学びについての振り返りでは、音楽の楽しさを感じられたことはもちろんのこと、学んだことがどのように活用できたのかについて記述した子供もいました(資料1)。

ジャンピングタッチが一番楽しくて
心に一番のこりました。

「リズム」を活用できたこと、また「リズム」を学んだことが役に立ったと実感できている記述

みんなリズムをうた

できたので音楽の学びが一つはやくはやくとたのしみだと思いました。

『ジャンピングタッチ』でうまくタンブリンが演奏できたのは、「リズム」を学んだことの成果だと感じている記述

タンブリンのときリズムがなかなか行けば、うまくできなかったけどリズムがあったから、ジャンピングタッチを思い出しました。

学んだすべての〔共通事項〕が、それぞれ独自ではなくつながっており、合奏に役立っていたと感じている記述

音の高さ、よびかけとこたえ、そしてリズム、音色がつながっている私達は思いました。お話を